

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
数学	数学A	1	2	必修

到達目標	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識し、それらを活用する態度を育てる。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	場合の数と確率 第1節：場合の数 集合の要素の個数 場合の数 順列 組合せ	もれなく、重複することなく数え上げる方法を理解する 公式・性質を正しく活用する 円順列・重複順列の考え方を理解する 順列と組合せの違いを正しく認識する	
1学期期末	場合の数と確率 第2節：確率 事象と確率 確率の基本性質 独立な試行と確率 条件付き確率	確率の定義を理解し、基本性質を用いて計算できる 独立の定義を理解し、確率を求める 条件付き確率の定義を理解し、乗法定理を利用して確率を求める	
2学期中間	図形の性質 第1節：平面図形 三角形の辺の比、外心・内心・重心 チェバ・メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線	中学の内容の復習を踏まえ、定理を正しく理解し活用することができる 証明の仕方を理解する	
2学期期末	整数の性質 第1節：約数と倍数 最大公約数と最小公倍数 整数の割り算と商・余り	倍数の判定法、素因数分解を理解する 最大公約数・最小公倍数を理解する 余りによる整数の分類（剰余系）を理解する	
学年末	整数の性質 第2節：ユークリッドの互除法 1次不定方程式 整数の性質 第3節：整数の性質の活用 分数と小数 n進法	1次不定方程式を解くことができる n進法の考え方を理解する	

評価方法と評価のポイント	評価は「関心・意欲・態度・努力」「数学的な見方考え方」「表現力」「知識・理解度」の4つの観点に基づいて、平素の学習意欲・態度、出席状況、ノート点検、定期考査等によって行う。定期考査は年に5回実施する。
---------------------	--

教科からのアドバイス

必ず復習を行い、授業内容を一度振り返ることが大切。傍用問題集を活用して、常に問題演習に取り組む。また、わからない点が出てきたときは、すぐに友達や教員に質問し、一度は理解することに努める。
一問でも多くの問題を解こう！